

## 「市長と語る会（愛発地区）」開催報告

- 1 日時 令和7年7月10日（木）  
18:30～20:15
- 2 場所 愛発公民館
- 3 対象者 主に愛発地区
- 4 参加者 16人



### 5 ご意見

意見	内容
お見合い結婚について	・最近の状況は。合コンなど出会いの場に行きたがらない若者も多い。昔は近所の人等が仲介したが、今はない。
足田診療所について	・足田診療所をもっと活用できるようにしてほしい。 ・近くに信頼できる医師がいると安心する。週に何回か、外部から医師が来る体制を望む。
クマ対策について	・クマの目撃状況があった場合、教員が下校時に付き添っているが、丸腰で不安との声がある。クマ避けのスプレーを学校に配置できないか。
校区の見直しについて	・区から小学校までの通学距離が長く、特に炎天下の徒歩通学が心配。隣の小学校の方が近いと感じるので、校区の見直しを検討してほしい。
児童クラブについて	・小学校で、児童クラブが学年別に2つに分けられているところがある。兄弟で利用していると、保護者は2箇所へ迎えに行かなければならない。改善できないか。
高齢者の移動手段について	・高齢者が、タクシー代が高額なため通院を我慢する場合がある。高齢者が安心して移動できる仕組みが必要。
クルーズ船の入港について	・入港時のシャトルバスについて、敦賀駅と氣比神宮前が乗降車口になっていた。商店街の活性化や観光客の誘導として、良いアイデアだと感じた。
地区の地域資源の発信について	・愛発地区には、柳ヶ瀬隧道、小刀根トンネルなど地域資源が多くあるが、市内外に十分にアピールされていない。田舎の良さをもっと発信してほしい。
道の駅について	・市長公約の道の駅には物産品が必要。若い世代の農業従事者を育成するプロジェクトを推進してほしい。 ・他の道の駅の事例では収益性に課題があり、設置には慎重な検討が必要である。
耕作放棄地について	・耕作放棄地の増加が深刻な問題。生産組合が活発に活動している区もあるが、農業経験のない地権者が多く難しい区もある。市が農協と連携し対策してほしい。
若者の地元定着について	・大学進学率は高いが、敦賀に魅力的な大学や就職先がなくUIターン者が少ない。看護大は学部が限定される。
過疎化対策について	・人口減少が深刻。市役所内に「過疎化対策室長」のように地区ごとの担当者を配置してはどうか。
地域毎の拠点づくりについて	・販売業が営業所毎に売れる商品が異なるのと同様に、地域の特性を活かした拠点づくりが重要。公民館が地域の拠点として機能することに期待している。